

## 今後の審議の進め方について（案）

中央環境審議会地球環境部会では、京都議定書の締結について国会の承認を得るためにはどのような国内制度が必要となるのかという観点から、本年2月に目標達成シナリオ小委員会、国内制度小委員会の2つの小委員会を設置し、COP6再開会合前の7月9日に中間取りまとめを行ったところ。

本年7月のCOP6再開会合においては、京都議定書の運用ルールの中核的要素に関する基本的合意（ボン合意）が得られ、京都議定書の2002年発効に向けた気運が高まった。我が国は、京都議定書の2002年発効を目指し、本年11月のCOP7までに最終合意を達成すべく、引き続き全力を尽くしている。

ボン合意を受けた総理大臣談話においては、「目標を達成するための国内制度に総力で取り組む」とされており、京都議定書の2002年発効に向けて、我が国として京都議定書を締結するための制度の準備を進めていく必要がある。

これらを踏まえ、本部会は、京都議定書の国内制度について、COP6再開会合の結果も踏まえつつ、さらに審議を進め、具体的な制度案をまとめるため、同部会国内制度小委員会において審議を再開する。国内制度小委員会においては、年内を目途に最終的な取りまとめを行い、地球環境部会に報告すること。

今後の具体的なスケジュールは以下のとおり。

10月19日(金) 10:00～12:00	第9回国内制度小委員会 国及び地方公共団体の計画とその検証、見直しの仕組み
10月31日(水) 10:00～12:00	第10回国内制度小委員会 排出削減を進めるための措置
11月15日(木) 10:00～12:00	第11回国内制度小委員会 京都メカニズムの活用の在り方 制度の全体像（案）
12月6日(木) 14:00～17:00	第12回国内制度小委員会 制度の全体像（まとめ）
12月14日(金) 14:00～17:00	国内制度小委員会予備日

12月20日(木) 14:00～17:00	地球環境部会
--------------------------	--------

（会場：全て東条インペリアル（予定））